

## 「音楽会・図工作品展」

学芸的行事委員長 鈴木 友里恵

11月15日(金)、16日(土)は「令和元年度音楽会・図工作品展」を開催しました。地域・保護者の皆さまにおかれましては、ご参観いただき、誠にありがとうございました。

### ～音楽会について～

音楽会に向けて、各学年では2学期から曲の練習を始めました。音楽の時間のみならず、休み時間にも熱心に練習に励み、お互いに教え合う子供たちの姿が見られました。初めはバラバラだった演奏が、本番では合うようになり、クラスや学年の一体感を感じる合唱・演奏になっていたと思います。

また、子供たちは、全校合唱「MY HOME TOWN」という曲を通して、この地を愛し、誇れる気持ちを持ち、元気よく歌うことができました。

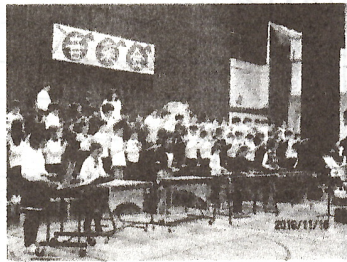
### ～図工作品展について～

作品展では日ごろの図工の授業で学んだことの成果を見ていただく機会でした。各学年の発達段階に沿った、材料や道具・画材に出会う中で、子供たちは、のびのびと、つくったり、見たりしながら、自分色や自分らしい形をみつけて表すことができました。

## 日々の努力

5年学年主任 窪木 亜希子

日々、様々な教育活動を通して成長している5年生。音楽会でも、さらに大きな成長を遂げました。夏休み前からこつこつとリコーダー練習に取り組み、本番が近づくにつれて、どちらの教室からも朝のちょっとした時間や、休み時間に「糸」の音色が聞こえてきました。合奏「スターウォーズ」では、熱心に音楽室に通い、個人練習に励む姿も見られました。合唱「未知という名の船に乗り」では、“さすが5年生！”という心に響く歌声でした。大成功に終わった音楽会ですが、初めからすべてが上手くいっていたわけではありません。練習を重ね、試行錯誤し、皆で努力をした結果が今回の成功につながったのだと思います。この経験を通して、子供たち自身が“結果”だけではなく、そこに至るまでの“過程”も大切だということを感じてくれたらと思います。



## 学習ルームって何をするとところ？

学習ルーム 松尾 あづみ

教室の様子を見に行くと、子供たちに表題のような質問をされることがあります。また、ありがちな誤解として、教科学習を行う補習塾のようなイメージをもたれることもあります。

実際の学習ルームでは、学習・生活・社会性や対人関係といった、その子ならではの課題について、解決方法を学んだり、よりよい取り組み方や伝え方を練習したりします。通う時間数は、子供によって違いますが、週に1～2時間が多いです。

個別学習・グループ学習という形態については、子供たちは、算数の少人数学習を通して習熟が進んだ経験をもっているのでも「そうなんだ!」「いいなあ」と笑顔を見せてくれます。どの子も「もっとうまくなりたい」「もっと仲良くなりたい」そんな希望をもっているのですね。

保護者の皆さんも、日々、一生懸命に我が子について悩んだり励ましたりしてくださっていることと思います。学習ルーム利用希望の有無に関わらず、相談日をご活用いただくなど、学校生活の中でお子さんの成長について気になることがありましたら、ぜひお気軽にご相談ください。

## 赤坂小の給食について

栄養士 菊池 千翔子

11月22日(金)に1年間の育児休業から復帰しました菊池です。赤坂小の給食がさらに美味しく安全で、子供たちが学校へ来る楽しみの一つとなるように努めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

さて、今回は赤坂小の給食についてご紹介します。赤坂小では、港区の栄養摂取基準や食品分類別摂取基準に基づき、様々な栄養素や食品をバランスよく取り入れるように献立を作成しています。家庭ではあまり食卓にのぼらないような豆・種実・きのこ・海藻・小魚なども子供たちが食べやすいように揚げ物にしたり、デザートにしたりと工夫して提供しています。また、「ラッキーアイテムの日(各クラスの誰か一人に星形の人参が当たる)」「食育の日給食」「誕生日給食」「行事食」「セレクト給食」など、普段と異なる特別給食の日を毎月設定し、食育に活用したり、楽しい給食時間となるように特別感をもたせたりしています。今後はさらに子供たちのリクエストも取り入れていきたいと思っております。